

# 進むエネルギー市場構造転換

日本総合研究所 瀧口信一郎

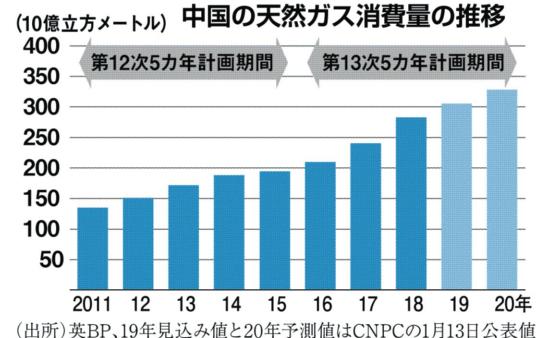
## 中国を読む

中国の新型肺炎（COVID-19）の報道を機に、原油価格は1バレル=56ドル付近から49ドル台まで低下した。中国は世界の国内総生産（GDP）、原油消費量で15%近くを占め、世界の経済、エネルギー需給に与える影響は大きい。国際エネルギー機関（IEA）は新型肺炎の影響として2020年1～3月期の石油需要が前年同期比で日量43万5000バレル減少する見込みと発表した。

### 肺炎で石油需要減

個人消費への影響も大きく、中国の自動車販売は急減し、中国の新興電気自動車（EV）メーカーNIO（上海蔚来汽車）も、1月のEV売上台数が1598台と19年12月に比べて半減した。工場生産の停止で燃料需要も減退し、中国海洋石油集団（CNOOC）は1月末、英蘭ロイヤル・ダッチ・シェル、仏トタルなどに対し新型肺炎に伴う不可抗力を主張して液化天然ガス（LNG）輸入契約を停止したとされ、世界のエネルギー業界に反発と動搖が広がった。

一方、新型肺炎の影響は続いているものの、中国での生活や



業務活動は通常に戻りつつある。リーマン・ショック以来、金融緩和が長期化し、米中貿易摩擦の不安も残る中で安心は禁物だが、いつか交通需要や工場生産は回復し、混乱は収束する。開催延期が決まった全国人民代表大会（全人代＝国会）に向け経済対策も打ち出されつつある。

政治的、社会的变化の反映が早い原油価格は、新型肺炎の終息が見えてくれば回復する。重症急性呼吸器症候群（SARS）が流行した03年、石油需要は前年比で10%以上上昇している。SARSと比べて新型肺炎は感染者数が多く、中国の経済成長率も異なるが、長期的に見れば一時的な経済損失はその後の成長を取り戻せる可能性もある。

新型肺炎で中国経済が停滞す

ると判断する前に、今回の混乱の中でより明らかとなったエネルギー市場の構造変化に備えることが大切である。新型肺炎の混乱で見たエネルギー市場の構造変化を2点挙げたい。

### EV化とLNG急伸

1つ目は、補助金頼みではない自動車の電動化が現実となっていることだ。NIOのEV販売半減で分かったことは、新型車種ES 6が納車開始からわずか半年余りで月間販売2500台まで順調に伸びていた事実である。中国政府のEV補助金は19年6月に大幅削減されたが、その頃に納車が始まった車種で販売が進んでいるのである。中国は自動車産業強化のため、世界で優位に立てるEVへの転換を進めしており、19年の中国全体のEV



たきぐち・しんいちろう 京都大学理学部を経て、1993年同大大学院人間環境学研究科修了。テキサス大学MBA（エネルギー・ファイナンス専攻）。外資系コンサルティング会社、Jリート運用会社、エネルギー・ファンドなどを経て、2009年日本総合研究所入社。創発戦略センターシニアスペシャリスト。専門はエネルギー政策、エネルギー事業戦略、分散型エネルギー・システム。著書に「中国が席巻する世界エネルギー市場 リスクとチャンス」（日刊工業新聞社・共著）、「エナジー・トリプル・トランسفォーメーション」（エネルギー・フォーラム・共著）など。1969年生まれ。

販売は100万台を超えている。

2つ目は、中国の石炭から天然ガスへの転換が現実化していることだ。LNG契約停止をめぐる混乱は急速な天然ガス利用拡大の反動である。石炭の環境汚染への批判を受け、中国政府は第12次5カ年計画（11～15年）の頃から天然ガス利用の拡大を本格化したが、インフラ整備に時間がかかるため計画ほど進展しなかった。これが、第13次5カ年計画（16～20年）期間に入り、急速に利用が拡大しているのである（図表）。16年にはトルクメンistanなど中央アジアからの西気東輸第3パイプライン（東部）が開通して強化され、19年12月にはロシア・シベリアからのパイプラインと接続。オーストラリアからのLNG輸入も拡大している。

さらに、19年12月には供給インフラの効率運用のため、中国石油天然気集団（CNPC）、中国石油化工集団（Sinopec）、CNO

OCの持つ天然ガスパイプラインとLNG基地を、新設した国家石油天然気管網集団に集約して天然ガス供給の効率化を図っている。20年1月15日の米中の第1段階通商合意で、中国がアメリカからのLNG輸入を約束したのも中国にメリットがあったからである。

EVに慎重だったトヨタ自動車が中国でのEV強化に動いているように、中国のEV市場拡大に乗り遅れれば次世代自動車競争で劣後する。さらに寧徳時代新能源科技（CATL）など中国蓄電池メーカーが急拡大し、次世代エネルギー市場で日本が立ち遅れる懸念がある。中国の天然ガス消費拡大も、日本、韓国が中心となってきたLNG市場やコージェネレーション（熱電併給）など天然ガス関連設備市場に影響を与える。中国のエネルギー市場の転換は着実に進んでいる。次に向けた備えは怠れない。